

「自分に自信を、ふるさとに誇りと愛着をもつ子」を育む 久田見小学校

久田見小学校は、「自分に自信を、ふるさとに誇りと愛着をもつ子」を目指し、次のような指導、活動を重点にして取り組んでいます。

1 少人数だからこそできる指導

久田見小は、1クラスの平均が8人という小規模校で、私たちは、そのよさを生かした指導を心がけています。

1つ目は、「一人一人を見届け、状況に応じた指導」ができるということです。困っている子には、思考を促すヒントを与え、できている子には、さらに考えを深めるアドバイスを与えるなどして、一人一人の状況に応じた指導を心がけ、「できた！わかった！」という気持ちを味わえるような取り組みを大切にしています。1クラス平均8名の本校だからこそできる手厚い指導です。



2つ目は、「一人一人を位置付ける」ということです。右の写真は、今年の4年生の国語の「言葉遊び」の授業です。一人一人が短い文章を作り、カードに書いて黒板に位置付けました。そして、9人の文章を合わせて、クラスで一つの詩にしました。全員で完成させた詩で、一人一人が達成感を感じることができました。



2 45年目のトランペット鼓隊

トランペット鼓隊は、今年で45年目を迎えます。子どもの数が減ってきているので、2年生の後半から、鼓隊の一員です。右の写真は、専門の先生をお招きし、個別に練習をしているところです。



一つの曲を完成させるまでに、「譜読み」「個人検定」「パート練習」「全体練習」と、たくさんの過程を経なければなりません。なかなか大変な練習ですが、子どもたちは、一つ一つの過程に目標を持って、頑張っているようです。

そして、地域のみなさんに、運動会や産業文化祭で披露します。曲を仕上げ、自分のパートをやりきって伝統を守る満足感を味わったり、お褒めの言葉を頂くことで、地域の方に楽しんでもらえる喜びを感じたりして、自信を深めています。



3 ふるさと教育

本校では、「ふるさとを愛し、感謝の心を育む」ふるさと学習に力を入れています。ふるさとには、生きた教材がたくさんあります。そして、それを教えてくださる温かい人が大勢いらっしゃいます。「地域の人・もの・こと」を活用し、次のような活動をしています。

①久田見・福地オリエンテーリング

ふるさとに愛着をもって生活するために、まず、ふるさとを知ることから始めようと、毎年、縦割りグループ(高原グループ)でオリエンテーリングを行っています。今年は、福地地区の方々にお世話になり、いろいろなところを訪問したり、福地について教えて頂いたりします。

②久田見祭り

3年生は、総合的な学習や社会科で、「地域の人たちが祭りをどのように行い、どのようにして大切に引き継いでいるのか」を学習します。また、6年生は、総合的な学習の時間の「ふるさとの伝統文化を学ぼう」で、糸切りからくりについて学んだり、地域の方を講師に、祭りに使われる篠笛を作成したりするなど、久田見祭りのすばらしさに触れています。



4 おわりに

将来、子どもたちがこの地で活躍できるように、また、ふるさとを離れて生活をするようなことになっても、臆せず人と関わり、ふるさとのことをいつも思う、「自分に自信を、ふるさとに誇りと愛着をもつ子」に成長してほしいと願っています。